

## 令和6年度「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム（GSHIP）」の取組状況について

### 1 趣旨・目的

2050年までに瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみゼロを目指すため、令和3年6月に設立した、「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム（GSHIP）」\*の令和6年度の取組状況について報告する。

\*製造・流通・消費に関する企業・団体・市町等 計138者で構成（R7.5.19時点）

### 2 現状・背景

GSHIPでは、①プラスチックの使用量削減、②プラスチックごみの流出防止、③清掃回収、④情報発信の4つのワーキンググループを設置し、参画会員と連携・協力しながら、取組を検討・実施している。

### 3 概要

#### (1) プラスチック使用量削減（リーディングプロジェクト支援補助金）の取組

令和4年度から生活由来の海洋プラスチックごみ対策に資する先進的な取組を行う企業等へ支援を行っており、令和6年度は6件の事業を採択し、取組を実施した。

連携企業・団体等	主な取組内容（概略）	参考
アサヒユウアス(株)、 アンカーホテル福山、山陽物産(株)、(株)メニコン 等 【新規】	<b>【リサイクル材100%のプラスチック製品の開発とプラスチックの循環ループの確立】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル材100%の歯ブラシ、くしの生産体制を確立 アンカーホテル福山をはじめ、瀬戸内海地域等で採用</li> <li>使用済み歯ブラシの回収・水平リサイクルを展開（回収率：約30%）</li> </ul>	①
(株)カネカ、 廿日市市、(株)そごう・西武、 (株)ロック・フィールド 【新規】	<b>【ワンウェイプラスチックの海洋生分解性素材への転換と処理モデルの構築】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ストローを海洋生分解性素材へ転換（計169.2万本） <ul style="list-style-type: none"> <li>廿日市市内の全市立小中学校27校</li> <li>ベジテリアそごう広島店</li> </ul> </li> <li>廿日市市立吉和小・中学校において、使用済みストローと給食残渣の堆肥化処理を実施</li> <li>素材の原料となる廃食用油の利活用について、そごう広島店の廃食用油の適合性を確認</li> </ul>	②
(株)ヤマサキ、 TOPPAN(株) 【新規】	<b>【ボディソープ容器の紙代替化によるワンウェイプラスチックの削減】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>お風呂等の水回りで使用するボディソープやシャンプー、トリートメントといった商品を対象に、紙製容器への適合性を検証し、ボディソープの適合性を確認</li> <li>容器の素材変更に伴う内容物の安全性・安定性を確認</li> <li>パッケージデザインを刷新し、3000本を製造</li> </ul>	③

<p><u>㈱ダイセル</u> あけぼの化成㈱、㈱オガワエコノス、㈱サンヨーアメニティ、㈱近畿日本ツーリスト商事、県内宿泊事業者等</p>	<p><b>【海洋生分解性プラスチック素材の宿泊アメニティの普及拡大、カキ養殖パイプへのリサイクル・実用性の検証】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内6施設でのホテルアメニティ（歯ブラシ）の導入と更なる普及促進、使用済み製品の回収を実施（回収量：276kg）</li> <li>・ 新製品（くし）の量産化に向けた技術検証を実施</li> <li>・ 使用済み製品を使用した牡蠣養殖パイプ（豆管）の、海洋浸水後の耐久性保持と育成影響がないことを新たに確認</li> </ul>	④
<p><u>三菱ケミカル㈱</u> 大竹市、㈱フジシール、㈱高山商会、(一社)全国清涼飲料連合会、㈱マルシン、日本製紙㈱、㈱ダイセル、マツダ㈱ 等</p>	<p><b>【飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般に流通しているラベルの水平リサイクルに必要な脱墨技術を新たに開発し実証</li> <li>・ 回収量の拡大を目的に大竹市内外の事業所を対象として自社排出型の回収実験を実施（回収量：約50kg）</li> <li>・ 回収したラベルを素材ごとに分別する技術の精度を向上</li> <li>・ 大竹市内の小学校や回収実験に参画した事業所を基点びペットボトルの3分別回収の促進等に関する啓発を展開</li> </ul>	⑤
<p><u>ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング㈱</u> ㈱イズミ、㈱フレスタ、叡啓大学、花市場 等</p>	<p><b>【プラスチック空容器回収プログラム等による資源循環モデルの構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内のスーパーで、ポイント還元型の使用済みプラスチック容器の回収（メーカー不問）を継続</li> <li>・ 新たに、回収した使用済みプラスチック容器と、花市場で生じる植物残渣を掛け合わせて、アップサイクル品を製造し、販売を開始</li> </ul>	⑥

※連携企業・団体等下線部：補助金申請者（代表事業者）

**【参考①～⑥】**



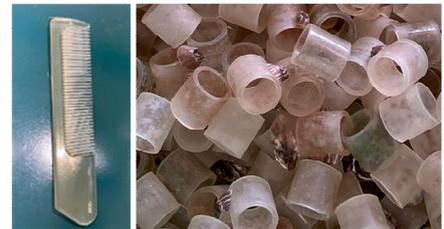
①リサイクル材から製造したホテルアメニティ（歯ブラシ、くし、専用トレイ）



②海洋生分解性素材の給食ストロー等への導入、学校でのコンポスト処理の実証



③紙製パックを用いたボディソープ商品



④海洋生分解性素材のくし、回収物からリサイクル製造したカキ養殖パイプ（豆管）



⑤水平リサイクルしたペットボトルラベル



⑥使用済みプラスチック容器と植物残渣を掛け合わせたアップサイクル品

(2) 流出防止の取組

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）	参考
R6. 8～ R7. 3	環境省、廿日市市、BIPROGY(株)、(一社)全国清涼飲料連合会等	○IoTスマートごみ箱「SmaGO」を、宮島口旅客ターミナル施設及び宮島TOTOおもてなしトイレに設置し、島内及びその周辺エリアでのポイ捨て量やごみの分別状況等を検証	⑦
R6. 10～ R7. 3	環境省、(一社)全国清涼飲料連合会、飲料メーカー、調査会社等	○自動販売機の新機能リサイクルボックスの観光地等（鞆の浦など）での導入促進に向けた散乱防止効果及び啓発資材による分別回収の促進等に係る効果を検証	⑧
R7. 3	広島駅まちづくり推進協議会、TOPPAN	○屋外散乱ごみの削減のため、JR広島駅周辺の川沿いの歩道等に、ナッジ※等を活用した啓発資材を設置し、周辺の散乱ごみの状況変化等を検証 ※「ひじで軽くつつく」という意味で、人々の選択や行動を、強制ではなく自然な形で望ましい方向へと導く行動経済学の理論	⑨

【参考⑦】IoTスマートごみ箱「SmaGO」の設置等による、ポイ捨て防止・ごみの分別向上に係る取組



宮島口旅客ターミナルに設置した「SmaGO」



ごみの分別やリサイクルに関する情報をデジタルサイネージで発信

【参考⑧】新機能リサイクルボックスを用いた散乱防止効果及び啓発資材による分別回収の促進等に係る効果検証



新機能リサイクルボックスに景観配慮デザインをラッピング



投入口啓発シール

【参考⑨】屋外散乱ごみの削減に資するナッジ等を活用した啓発資材に係る効果検証



ナッジを活用したメッセージとイラストを掲載した啓発資材



親しみやすいキャラクターを活用した資材も一部設置

(3) 清掃回収の取組

ア 清掃活動

実施時期	主な取組内容（概略）	参考
R6. 7～	○各地域で計画されていた清掃活動の情報を収集、集約及び一覧化し、申込希望のGSHIP参画会員とのマッチングを実施	—
R6. 9. 25 R6. 10. 14	○GSHIP参画会員等と連携した海岸清掃を実施 ・尾道市 因島 梶ノ鼻海岸 (9. 25) : GSHIP会員 4 社・団体、17名参加 ・廿日市市 宮島 包ヶ浦海岸 (10. 14) : GSHIP会員 7 社・団体、200名参加	⑩
R6. 9～ R7. 2	○釣り人をターゲットとした海ごみ回収促進事業の実施（海底・海岸清掃、海ごみ写真のオンライン投稿による海ごみの種別・数量等の解析 等）【瀬戸内オーシャンズX連携事業】	—

【参考⑩】 GSHIP 参画会員等と連携した海岸清掃の様子



イ 清掃マッチング

GSHIP 参画会員に、自治体や地域が主催する清掃イベントの情報を共有し、参加の輪を広げる取組

R 6 マッチング清掃数：7（GSHIP 参画会員を含む参加延べ人数：約 800 人）

ウ その他（GSHIP 参画会員による清掃活動）

従業員を対象とした自主清掃や一般参加型の清掃イベントなど、GSHIP 参画会員が企画した清掃活動も多数実施された。



株式会社リーガロイヤルホテル広島



ツネイシホールディングス株式会社



マツダ株式会社

(4) 情報発信の取組

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）	参考
R6. 6	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、日栄新化(株)、(株)そごう・西武そごう広島店 等	○「環境の日」ひろしま大会に、ペットボトル等のプラスチックを題材とした体験（3分別ゲーム等）や海ごみ学習ブースを出展	⑪
R6. 6 ～R6. 8	(株)セブン-イレブン・ジャパン	○店頭設置のペットボトル自動回収機に海洋プラスチックごみの削減とプラスチックの分別促進の啓発を目的とした限定ポスターを掲出	—
R6. 8	経産省、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、参画会員	○「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ（CPs）」の公式ウェブサイトにおいて、GSHIPの取組等を知事インタビューにて紹介	—
R6. 9	サッポロビール(株)、(株)中国放送、瀬戸内オーシャンズX	○瀬戸内海の海洋ごみ削減に向けた機運醸成及び意識啓発を目的とする、サッポロ生ビール黒ラベル「瀬戸内海環境保全応援缶（第2弾）」の展開	—
R6. 10	イオンリテール(株)中四国カンパニー、(公財)広島県環境保健協会、参画会員	○イオンモール広島府中で開催の環境イベントにおいて、資源循環に係る取組、GSHIP会員の取組等を紹介	—
R7. 2	経済産業省	○経済産業省主催「サーキュラーエコノミーによる地方創生シンポジウム in 広島」において、GSHIPの取組等を知事講演により紹介	—
R7. 2	(株)フレスタホールディングス、(株)フレスタ、(株)無印良品、(株)エフピコ、タメントイ	○ペットボトルや食品トレー等の生活系プラスチックを題材に、アルパークにおいて、フレスタ及び無印良品の店内でPOPによる啓発を展開するとともに、工作などの体験コーナー、ステージイベントを実施	⑫

【参考⑪】「環境の日」ひろしま大会での啓発



ペットボトルを7秒以内に3分別する  
ゲーム体験



ペットボトルキャップをはめて完成させる  
参加型アート制作



繰り返し使える黒板シートを  
使ったぬり絵体験

【参考⑫】アルパークでの啓発



プラスチックを用いた  
科学実験



紙を素材にした  
クラフト工作ワークショップ



民族楽器演奏と現代アーティストによる  
ライブペイント

#### 4 今後の対応

- 使用量削減については、引き続き、プラスチックの代替素材化や資源循環に資する先進的な実証への補助事業を継続するとともに、効果的な実証となるよう、市町との調整やGSHIP参画会員との連携など伴走型の支援を実施する。また、さらなる取組の拡大に向けて、令和7年度から新たに、モデル地区において社会実装化事業を展開し、ワンウェイプラスチックの削減に資する製品・サービス等の面的な普及・定着を図っていく。
- 流出防止に係るモデル事業で効果の見られた取組の広域展開の推進、活動団体とGSHIP参画会員とのマッチングによる清掃回収の拡大、メディア等と連携した情報発信の取組を順次検討・実施する。
- その他、国や関連団体等が実施するイベント等などの機会を通じて、本県の取組を継続的に情報発信するとともに、県民への海洋プラスチックごみ削減に向けた機運を醸成する。